



浦島伝説

命の授業をしました

今日の6校時、すべての学級で「いじめ」問題に関する授業をしました。

まず、文部科学省から出された通知を紹介しました。子どもたちの生命を守るという視点から、いじめを犯罪行為として取り扱われるべきと認められる行為があった場合の対応について書かれています。保護者にも周知するよう書かれているため、裏面に掲載していますので、ぜひご覧ください。

次に、いじめの構造について考えました。いじめは、いじめる子やいじめられる子だけの問題ではありません。“いじめをはやし立てるのは、いじめを助長していること”“見て見ぬふりをするのは、いじめを支持していること”になります。「観衆」「傍観者」は「加害者」と同じ立場にあるとも言えるのです。いじめ問題を解決するためには、観衆や傍観者をなくすることも必要になります。

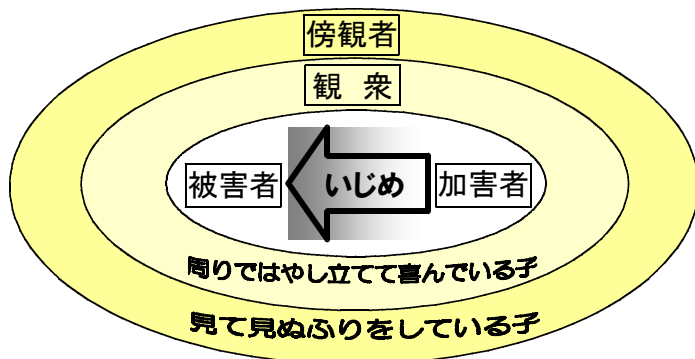
また、いじめの構造は複雑なもので、加害者がある日突然、被害者になることもあります。それぞれの立場で悩み、苦しんでいる人がいます。そこで、様々な立場の人に対して、著名人が贈ったメッセージを紹介しました。自分の経験と重ねたとき、心に響いた言葉があったと思います。

最後は、『命の授業』という資料を読みました。著者は、腰塚勇人という中学校教師です。スキーで首の骨を骨折して一生寝たきりと宣告されましたが、家族や生徒の応援と感謝の心により復活を遂げたという奇跡の実話です。かつてTV「アンビリバーボー」でも紹介されました。右に紹介した“5つの誓い”は、腰塚先生が学校に復帰したときに決めたものです。そして、資料の最後には、下のような文章が書かれています。

「生きている」って、それだけで、本当に素晴らしいことだから。あなたは決して一人じゃないから。あなたを応援してくれる人、あなたを必要としてくれる人は、必ずいるから。あなたが「生きている」だけで、それだけで幸せを感じてくれる人は、まわりに必ずいるのです。

最初は、「いじめ」の授業としてスタートしましたが、実は「いのち」の授業でもあったのです。

ところで、ゆずが歌っている『with you』という曲を知っていますか。某保険会社のCMソングとして、今年5月に発売された曲です。私たちが生まれて、ここで出会ったのは奇跡です。だからこそ、与えられた命を、みんなで支え合い、励まし合って、強く生きていきましょう。決して一人ではありません。どんな時も信じてくれる人がいるはず。あなたと共に・・・、with you。



口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
 目は、人のよいところを見るために使おう。
 手足は、人を助けるために使おう。
 心は、人の痛みがわかるために使おう。

with you 作詞・作曲：北川悠仁

こうして僕らが 出会えたキセキを
 今ここに刻むよ そして讃え合おう

路上の片隅で 寄り添う花のように
 想いは枯れずに いつも共にある

沈む夕陽 立ち止まる 明日が見えずに
 それでも暮れゆく空に 蘇るのは 確かな声

きっといつか 夢をつかむその日まで
 信じてくれた君の為に 何度でも 何度でも
 一人じゃない 心の中 どんな時も with you

まばゆい朝陽が 世界を照らしてゆく
 僕らの元にも 夜明けは来るだろう

焦る気持ち 行き詰まり 本当は怖くて
 果てなき暗闇でさえ 君を想えば 光は射す

たった一つ 夢に続くこの道を
 諦めないさ 僕はゆくよ どこまでもどこまでも
 溢れ出した 心の声 この想いは with you

僕らをつなぐ 未来へと進む

きっといつか 夢をつかむその日まで
 信じてくれた君の為に 何度でも 何度でも

そして人は与えられた命を
 輝くため 愛する為に 強く今を生きてゆく
 支え合い 励まし合い その向こう側へ
 一人じゃない 心の中 どんな時も with you